

路線名	都道府県	対 象 区 間	１．整備手法の考え方	２．その他自由意見
東海北陸道	岐 阜 県	飛騨清見 ～ 白川郷	「高速道路株式会社による有料道路方式」 整備の必要性 ・東海北陸自動車道は本区間のみが未開通（前後まで整備済み）。 ・当区間を整備することにより、東海と北陸が直結することになり、両地域の発展、振興に多大な効果が生まれる。 整備の手法 ・当区間が開通することにより交通量の増加が見込まれ、採算性が上がることから、引き続き中日本高速道路㈱により整備されたい。 ・全国的高速国道ネットワークの一部を形成する部分であり、中部地区を一元的に管理する中日本高速道路㈱により、整備されたい。	○東海北陸自動車道 四車線化事業(瓢ヶ岳ＰＡ～五箇山ＩＣ)について 整備の必要性 ・飛騨清見～白川郷間の開通後に、交通量の増加が見込まれる。 ・対面通行区間であり、高速機能の確保や交通事故防止の観点から、四車線化が必要。 整備の手法 ・飛騨清見～白川郷間が開通することにより交通量の増加が見込まれ、採算性に好影響もあることから、引き続き中日本高速道路㈱により整備されたい。 ・全国的高速国道ネットワークの一部を形成する部分であり、管理の一元化の面からも、引き続き中日本高速道路㈱により整備されたい。 ○東海北陸自動車道 飛騨トンネル区間 料金の設定について 高速自動車国道の料金は、償還主義の原則と公正妥当主義の原則に基づき決定されており、飛騨トンネル区間は建設費が他区間より高いため、他の長大トンネル区間と同様に特別料金が設定されることが想定される。しかし、東海北陸自動車道をより利用しやすい道路とするために、出来る限り国幹道の料金体系に近い、安価な設定とされたい。 ○スマートインターの設置 スマートインター設置にかかるスキームを早期に提示されたい。 スマートインター設置に当たっては、積極的な整備を推進するとともに、地元負担を伴わない手法を検討されたい。